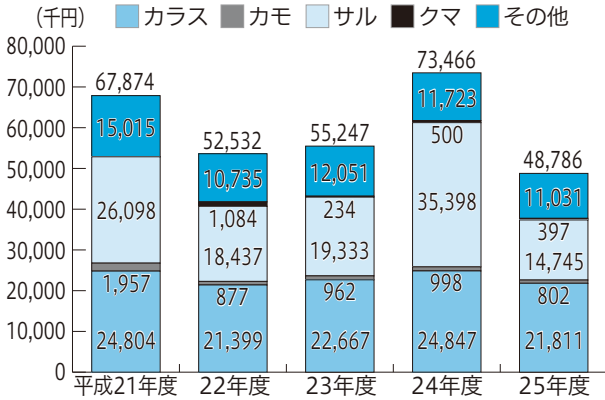


鳥獣被害の対策を考える



本市における鳥獣による農作物被害額

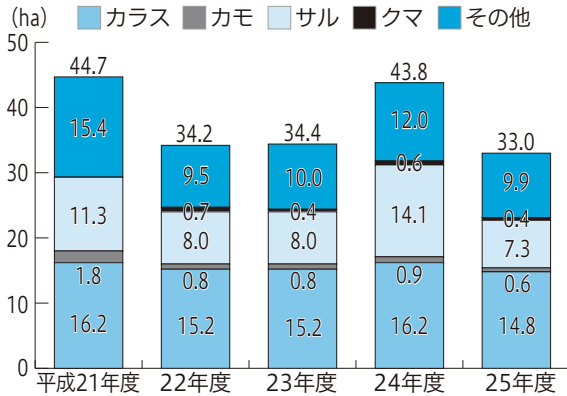


近年、サルやカラス等の野生鳥獣による農作物被害が、全国の中山間地域を中心に深刻化しています。これは本市も例外ではなく、農家の皆さんにとって大きな問題となっています。また、住宅地付近でのクマの目撃情報も多くなっており、市民生活に危険が及ぶことも心配されています。

今回の特集では、本市における野生鳥獣による被害の現状とその対策について紹介します。

◎問合せ 本所農政課 ☎25 - 2111内線556

本市における鳥獣による農作物被害面積



本市は、市域の約七割を森林地帯が占め、豊かな自然の恩恵を受けています。しかしその一方で、野生鳥獣による農作物被害も多く、農業に与える影響は深刻です。人里や農地に入り込み、人畜や農作物等に何らかの被害を及ぼす野生鳥獣は有害鳥獣とされています。本市では、カラス、カモ、サル、ハクビシン、クマ等による被害が見られ、平成二十五年度の被害額は約四千九百万円。ここ数年は毎年五千万〜七千三百万円の被害

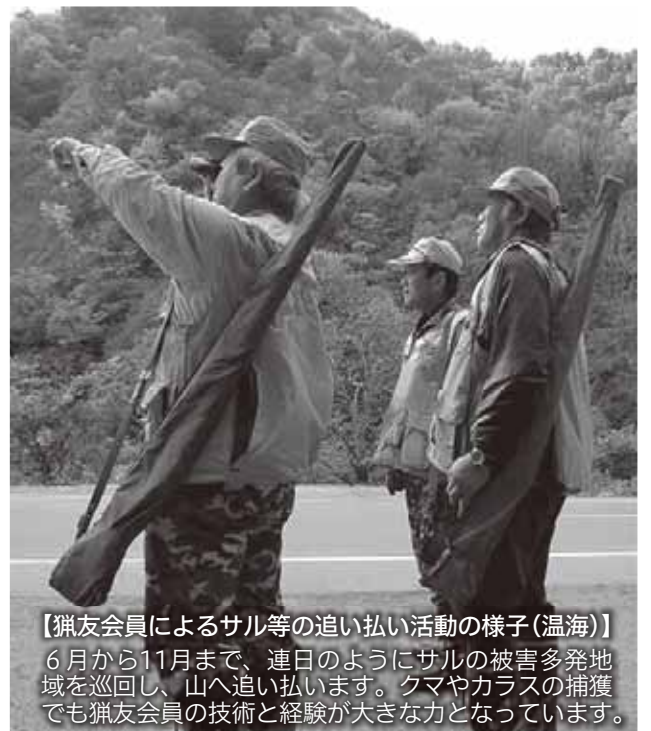
有害鳥獣による被害の状況

本市の対策と課題

本市では、鶴岡市鳥獣被害防止対策協議会（市、県、J A、猟友会、地域住民、学識経験者等で構成。平成二十一年から活動）が行うカラスの捕獲やサルの追い払い、市が猟友会に委託して行うクマやサルの緊急捕獲、そして地域住民や農家の方々が自ら行う被害防止対策等（電気柵、侵入防止柵、防鳥ネット、自治会単位の追い払い隊結成経費等）への助成と、大きく三つ

を受けています（グラフ参照）。

の取り組みを展開しています。このうち、中山間地に広く出没し農作物に被害を与えるサルの追い払い・捕獲や、近年住宅地にまで出没し市民に危険をもたらしているクマの緊急捕獲などは、猟友会の技術と経験がなくては到底行えない重要な取り組みです。しかし、その担い手である猟友会の会員数は、昭和五十三年の八百四十八人をピークに今年度百六十八人と激減しており、ここ十年でも六十人減少しています。また、全体の年齢構成は六十歳以上が全体の七六・八%を占め、高齢化



【猟友会員によるサル等の追い払い活動の様子(温海)】

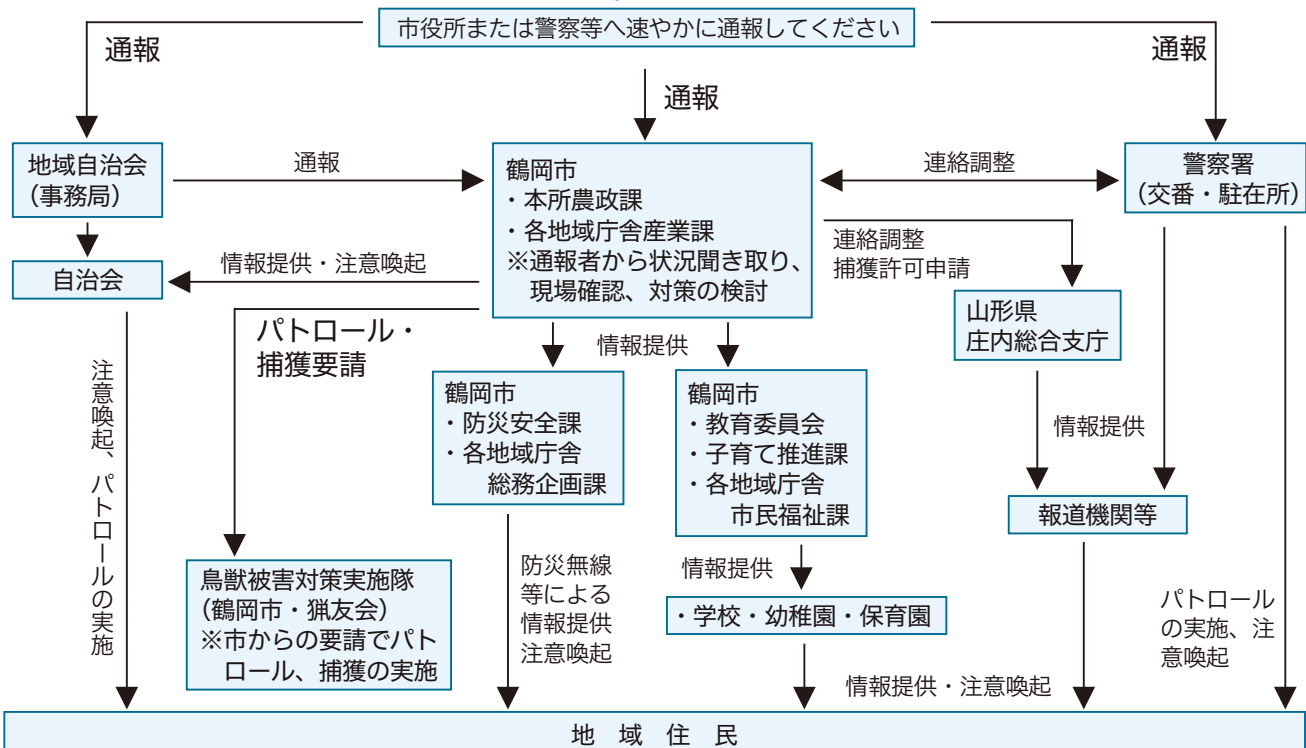
6月から11月まで、連日のようにサルの被害多発地域を巡回し、山へ追い払います。クマやカラスの捕獲でも猟友会員の技術と経験が大きな力となっています。



鶴岡市鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式（平成26年10月）
 実施隊を代表して佐藤征勝県猟友会鶴岡支部長と阿部徳秋同温海支部長に委嘱状が手渡されました。佐藤支部長は「地域の方々に認知される社会貢献をしていきたい」と挨拶しました。

【クマ出没等緊急時の連絡体制】

被害発生
 出没目撃



も進んでいます。鳥獣被害防止の取り組みを更に推進していくためには、猟友会の新規会員獲得と、猟師資格の取得・維持経費等の負担軽減が大きな課題といえます。

こうしたことから、市や県では「狩猟免許取得支援」や「猟銃購入助成」を通し、猟友会員確保の支援を行っています。また、山形県猟友会では「狩猟普及セミナー」を開催し、猟友会の活動紹介や射撃練習の見学、捕獲鳥獣の試食等を行い、猟友会や狩猟に対する理解と関心を深める活動を行っています。

鶴岡市鳥獣被害対策実施隊を設置

実施隊は、被害対策の担手の確保と実効性を高める観点から、鳥獣被害防止特別措置法に基づいて市町村が設置できるもので、実施隊の編成によって被害防止活動の体制強化につながることが期待されます。県内では平成二十四年度からこれまで、置賜、村山地方を中心に十五自治体で設置されています。本市は、庄内の自治体では初めてとなる実施隊を十月一日付けで設置し、山形県猟友会鶴岡支部

地域ぐるみの被害対策を

の百四十一人、同温海支部の二十七人、市担当者九人の計百七十七人を隊員に委嘱しました。民間隊員は、消防団員等と同様に市の非常勤特別職として捕獲に従事します。また、一定の要件を満たす隊員は、銃刀法の狩猟所持許可更新時等の技能講習免除、毎年狩猟者登録時に県へ納める狩猟税の軽減といった負担軽減措置があります。

鳥獣被害対策は、行政、猟友会、地域住民が力を出し合い、個々の取り組みだけでなく地域ぐるみで取り組んでいくことが重要です。また、人身や財産に被害が生じる恐れがある緊急の場合は、とりわけ市民の皆さんからの速やかな情報提供が必要です。市では、実施隊の活動の他、被害対策の研修会の開催や、自治会単位の追い払いや環境整備活動等の支援も重点的に進めていきます。

鳥獣被害対策は、地域で安心して生活する上で皆で共有したい問題です。豊かな自然と安全な暮らしをしっかりと守っていきましょう。